

令和4年度 水稻病害虫の発生状況（育苗期～5月）

1 育苗期病害

ばか苗病及びピシウム属菌による苗立枯病（ムレ苗症状）の発生箱割合は、平年並でした（表1、図1、2）。

その他の病害については発生が確認されませんでした。

表1 水稻育苗期病害の発生状況

調査年次	調査施設数	調査箱数	病害別発生箱割合(%)							計
			フザリウム	ピシウム	リゾプス	トリコデルマ	ばか苗病	もみ枯細菌病	苗立枯細菌病	
H24	13	66,898	0.01	0.06	0.00	0.00	0.10	0.62	-	0.79
H25	13	70,800	0.00	0.22	0.00	0.00	0.10	0.92	-	1.24
H26	13	76,236	0.00	0.01	0.00	0.00	0.10	0.09	-	0.21
H27	0	69,451	0.00	0.04	0.00	0.00	0.03	0.13	-	0.21
H28	13	93,202	0.00	0.01	0.00	0.00	0.11	0.01	-	0.13
H29	13	100,033	0.00	0.07	0.00	0.00	0.09	0.00	0.00	0.16
H30	15	117,420	0.00	0.00	0.00	0.00	0.12	0.00	0.00	0.12
R1	9	65,976	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.02
R2	13	283,041	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
R3	12	77,183	0.00	0.04	0.00	0.00	0.09	0.00	0.00	0.13
R4	37	84,399	0.00	0.02	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.07
平年			0.00	0.05	0.00	0.00	0.08	0.18	0.00	0.30

注) 調査施設数・箱数… 中通り：22施設・52,791箱
 会津：9施設・22,443箱
 浜通り：6施設・9,165箱

注) R2は、JA防除員の報告と病害虫防除所で調査した合計値

注) R4は、一部業務用米等ではか苗病の多発生がみられたが、一般品種でないためデータから除外した

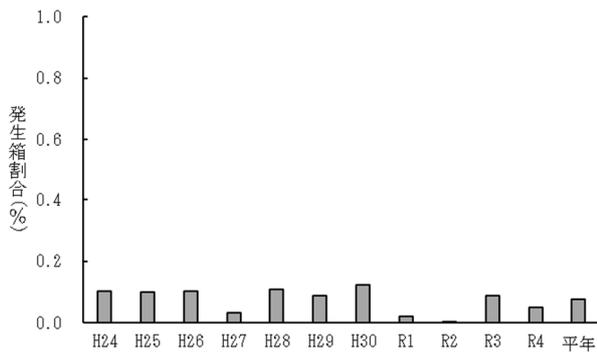


図1 ばか苗病発生箱割合の推移

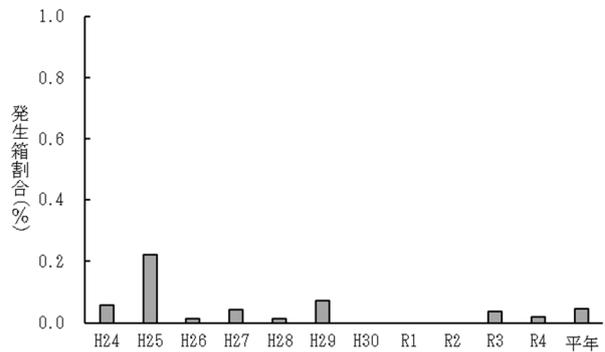


図2 ピシウム属菌による苗立枯病発生箱割合の推移

2 イネミズゾウムシ

有効積算温度によるシミュレーションの結果、成虫の本田への侵入は平年より早かったと考えられます（表2）。

5月中下旬の調査では、発生程度「少」以上のほ場割合は中通り地方では平年より低く、浜通り地方では平年よりやや高く、会津地方では確認されませんでした（図3）。

表2 有効積算温度によるイネミズゾウムシの侵入盛期、防除適期のシミュレーション結果

地点	侵入盛期			幼虫の防除適期（ふ化盛期）		
	予測値	平年値	平年差	予測値	平年値	平年差
梁川	5/3	5/10	-7	5/12	5/21	-9
郡山	5/7	5/16	-9	5/20	5/25	-5
白河	5/11	5/17	-6	5/25	5/28	-3
猪苗代	5/25	5/28	-3	6/4	6/7	-3
若松	5/10	5/14	-4	5/20	5/25	-5
西会津	5/13	5/20	-7	5/25	5/29	-4
田島	5/22	5/26	-4	6/3	6/5	-2
相馬	5/12	5/19	-7	5/24	5/29	-5
山田	5/6	5/14	-8	5/19	5/26	-7

注) パラメータは、3月1日起算、毎正時気温、発育零点13.8℃とし、有効積算温度から侵入盛期：72.8日度、防除適期：110日度とした。

注) 予測値は、5月31日まではR4実測値、その後最も早かったH27と最も遅かったH24の日平均値を用いて、その結果の平均とした。

注) 平年値は、H24～R3の予測値の平均とした。

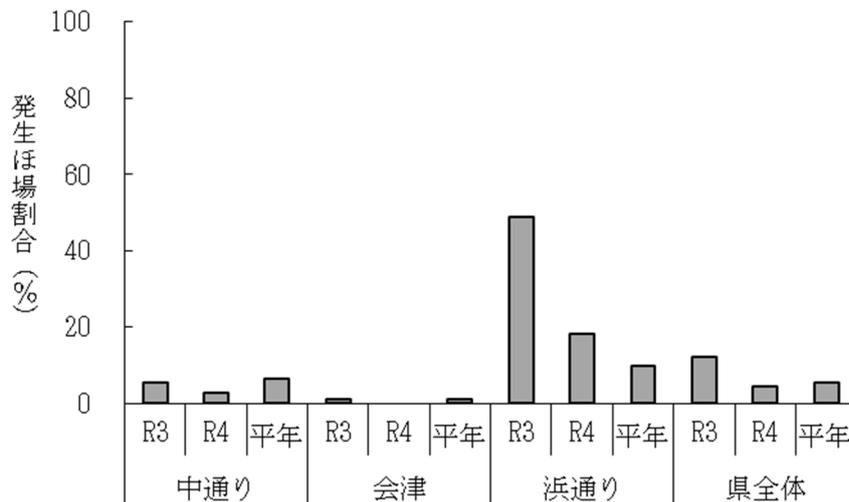


図3 イネミズゾウムシ成虫による被害の発生ほ場割合
（5月中下旬、発生程度「少」以上）

3 イネドロオイムシ

有効積算温度によるシミュレーションの結果、防除適期（ふ化盛期）は平年よりやや早いと考えられます（表3）。

5月中下旬の調査では、越冬成虫の侵入確認地点割合は平年並でした（図4）。

表3 有効積算温度によるイネドロオイムシの侵入盛期、防除適期のシミュレーション結果

地点	侵入盛期			幼虫の防除適期（ふ化盛期）		
	予測値	平年値	平年差	予測値	平年値	平年差
梁川	5/8	5/14	-6	5/21	5/27	-6
郡山	5/13	5/18	-5	5/27	5/30	-3
白河	5/14	5/20	-6	5/29	6/1	-3
猪苗代	5/26	5/29	-3	6/8	6/10	-2
若松	5/13	5/18	-5	5/26	5/29	-3
西会津	5/18	5/22	-4	5/31	6/3	-3
田島	5/26	5/27	-1	6/10	6/10	0
相馬	5/15	5/20	-5	5/29	6/1	-3
山田	5/12	5/17	-5	5/25	5/29	-4

注) パラメータは、4月1日起算、毎正時気温、発育零点11.0℃とし、有効積算温度から侵入盛期：140日度、防除適期：220日度とした。

注) 予測値は、5月31日まではR4実測値、その後最も早かったH27と最も遅かったH24の日平均値を用いて、その結果の平均とした。

注) 平年値は、H24～R3の予測値の平均とした。

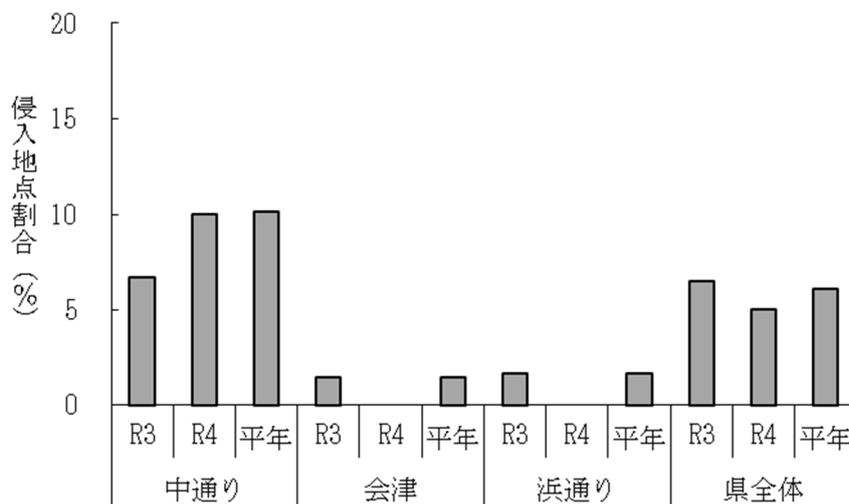


図4 イネドロオイムシ越冬成虫の侵入確認地点割合
(5月中下旬)

4 イネヒメハモグリバエ

5月中下旬の調査では、発生は確認されませんでした。

近年、同時期の発生は場割合は低く推移しています。